



# こどもを 地震・津波から 守る知恵

—東日本大震災から学ぶ—

## はじめに

東日本大震災から2年が経過しました。被害がなかったあるいは軽微だった地域では、残念ながらこの震災が徐々に過去の出来事になりつつある感は否めない一方で、被災者の方々の心にはまだまだ深い傷が癒えずに残っているのが現実です。中でも幼い子どもを亡くされたご家族の方々や、子どもたちが通っていた保育園・幼稚園・小学校等の先生方の中には日常生活に戻ることさえままならない方も少なくありません。

東日本大震災は、10歳未満の子ども約400名の命を奪いました。これは、国内の平均的な小学校の全校児童の数とほぼ同じ数です。すなわち、数の上ではとある小学校1校が丸ごと児童を失ったことと同等であることを意味し、今も心の傷に苦しんでおられる方が多数いらっしゃることは想像に難しくありません。

近未来に日本のどこかに必ずやってくるであろう大地震から、一人でも多くの子どもの命を守るためには、今、この未曾有の大震災の体験を通して得られた貴重な知恵を後世に伝えておくことが大切です。

このような課題認識の下、弊社では、社内プロジェクトチームを結成し、ワークショップを通じて宮城県内の保育施設・児童施設の先生方から東日本大震災の体験談を伺うとともに、被災した保護者の方々へのアンケート調査を実施しました。これらの活動から得られた「子どもを守るための知恵」をまとめたのが、本小冊子です。

いつ起きるかわからない地震対策は、ときにそこまで対応しなくてもと反対されることもあるでしょう。しかし、実際に地震が発生して、多くの命を失ってから、なぜやっておかなかったのかと後悔するよりはるかに意味があります。

東海・東南海地震に限らず、我が国の周辺には、今後30年以内に50%以上の確率で発生すると言われている海溝型地震は、各地に多数存在します。すなわち、津波を伴う大地震はいつ起きてもおかしくない状況なのです。

少子高齢化の進む我が国において、国の未来を担う子どもたちを災害から守ることは、我が国の将来を守ることでもあります。「いつ起きるかわからない」ではなく、「いつ起きてもおかしくない」状況であることを肝に銘じて、今、東日本大震災の経験から、1つでも多くの知恵を学び、この国の未来を守るために、子どもたちを守っていく環境の構築に向けて、是非社会全体で取組みが進展することを切に願います。

### 1. 保護者アンケート

- (1) 調査方法：インターネットによるアンケート調査
- (2) 実施時期：2013年2月
- (3) 調査対象：東日本大震災で被災し、当時小学生以下の子どもとともに避難生活をされた保護者
- (4) 有効回答数：206人(自宅以外での避難者103人、自宅避難者103人)

### 2. 保育施設・児童施設でのワークショップ

- (1) 実施方法：5～8名単位のグループディスカッション
- (2) 実施時期：2012年11月末～12月初
- (3) 参加対象：宮城県内の保育施設・児童施設の園長・所長から主任教諭までの役職員

## Index

第1章 家庭でこどもを守る知恵	P.3
地震編	P.5
津波編	P.20
第2章 保育施設・児童施設でこどもを守る知恵	P.27
地震編	P.29
津波編	P.44
資料編 ～保護者アンケート調査結果～	P.52

～東日本大震災から学ぶ～  
こどもを地震・津波から守る知恵

# 家庭で子どもを守る知恵

## 第1章

地震編

津波編

### 家庭で子どもを守るチェックリスト

#### 家庭で子どもを守る知恵

##### 【地震編】

- その1 家具の配置の見直しや耐震化(固定など)をしましょう .....5
- その2 家族間で災害が起こったときの対応を決めておきましょう .....6
- その3 家族で災害対応の基本を学びましょう .....7
- その4 避難生活に役立つ備品を準備しましょう .....9
- その5 子どものための備品を準備しましょう .....11
- その6 自宅周辺地域での防災コミュニケーションを「密」にしましょう .....13
- その7 「万が一の費用」のために損害保険をうまく活用しましょう .....15
- その8 「正しい」情報を収集しましょう .....16
- その9 必要なものを持ち出しましょう .....18
- その10 心のケアを考えましょう .....19

##### 【津波編】

- その1 避難場所、避難ルートを確認しておきましょう .....20
- その2 家族の間で避難ルールを決めておきましょう .....21
- その3 持ち出し品の優先順位を決めておきましょう .....22
- その4 地域の連携を大切にしましょう .....24
- その5 取り決めにこだわりすぎず、柔軟な状況判断を大切にしましょう .....26

～東日本大震災から学ぶ～  
こどもを地震・津波から守る知恵

# 保育施設で子どもを守る知恵

## 第2章

地震編

津波編

### 保育施設で子どもを守るチェックリスト

#### 保育施設で子どもを守る知恵

##### 【地震編】

- その1 保育施設の耐震性を確認しましょう .....29
- その2 内部の安全化を図りましょう .....30
- その3 保育施設に備蓄しましょう .....32
- その4 緊急時の連絡手段を複数確保しましょう .....34
- その5 災害時対応について保護者と事前取り決めを交わしましょう .....35
- その6 素早い避難に向けて工夫しましょう .....36
- その7 マニュアルを策定し、訓練を行いましょう .....37
- その8 職員への配慮も忘れないようにしましょう .....39
- その9 近隣の人々と助け合いましょう .....40
- その10 落ち着いて子どもを引渡しましょう .....41
- その11 保育施設のBCP(事業継続計画)を策定しましょう .....42
- その12 保育施設同士のネットワークを構築しましょう .....43

##### 【津波編】

- その1 避難場所、避難ルートを確認しておきましょう .....44
- その2 保護者との「一緒に避難」を検討しましょう .....45
- その3 持ち出し品は優先順位を決めて用意しましょう .....46
- その4 地域で連携した訓練を実施しましょう .....48
- その5 マニュアルにこだわりすぎず、柔軟な状況判断を大切にしましょう .....50